

日本マンガ史 I

科目ナンバリング ARL-205
選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

日本のマンガの起源をめぐっては諸説がある。この授業では、現代的なマンガのみならず、絵巻物から浮世絵、さらにポンチ絵まで、マンガのルーツと言われている様々な絵画表現を取り上げ、マンガの起源はどこに求められるかを授業内で考えていく。時代としては、12世紀から終戦までを対象とする。

2. 授業の到達目標

1. 絵巻物を始めとする日本の伝統文化との関係性から、歴史的なマンガ作品に関する専門的な知識を身につける
2. 歴史的なマンガを読み解き、日本文化の時代による変遷を説明できるようにする

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート40%、平常点(毎回の授業でのリアクションペーパー)60%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書: なし

参考文献

清水勲 『年表日本漫画史』(2007) 臨川書店

5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる時代とテーマを紹介するので、その時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べ、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

積極的な質問を期待します。

第15回目のオンライン回の実施日については、授業内で別途指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
マンガとは何なのか? 時代と国によるマンガの違い
- 【第2回】 マンガ前史1 —『鳥獣人物戯画』
- 【第3回】 マンガ前史2 —『信貴山縁起絵巻』
- 【第4回】 マンガ前史3 —『北斎漫画』
- 【第5回】 風刺画・ポンチ絵・鳥羽絵
- 【第6回】 北澤楽天の登場
- 【第7回】 楽天の弟子たち
- 【第8回】 絵物語とマンガ
- 【第9回】 コマ割りの変遷
- 【第10回】 少年小説にみる挿絵と文章の役割
- 【第11回】 少女小説にみる読者と作品の相互性
- 【第12回】 田河水泡の『のらくろ』
- 【第13回】 大城のぼるとストーリーマンガ
- 【第14回】 戦時下のマンガ
- 【第15回】 (オンライン回)マンガとは何かを考える